

— 創意に富む技術で社会に貢献する —

三陽技術コンサルタンツ 株式会社



所在地：〒379-2154 群馬県前橋市天川大島町三丁目8番地の3
 TEL : 027-243-6211
 FAX : 027-243-6214
 URL : http://www.sanyo-geo.co.jp
 従業員：61名
 設立：1964(昭和39)年
 代表者：代表取締役 吉岡慧治



本社社屋



社屋から望む“赤城山”



全社会議での社長説明

会社概要

当社は昭和39年群馬県前橋市に創業し、地域を代表する建設コンサルタントとして50周年を迎えます。

前橋市は上毛三山と呼ばれる、赤城山・榛名山・妙義山を擁する「水と緑と詩のまち」として、また、毎年1月1日に行われる「ニューイヤー 駅伝」の舞台としてもお馴染みの都市です。

この地で「三陽測量株式会社」として設立後、土木設計・地質調査・補償コンサルタントと業務分野を拡大し、現在では、測量業、建設コンサルタント業(登録7部門)、地質調査業、補償コンサルタント業(登録4部門)、土壌汚染対策法に基づく指定調査機関、一級建築士事務所の各専門分野において、関東近県を中心に事業を行っています。

このような成り立ちから、平成24年4月に「三陽技術コンサルタンツ株式会社」へと社名を変更し、新たな目標に向かってスタートを切りました。

経営

「創意に富む技術で社会に貢献する」を経営理念と

し、「お客様に感動・満足していただける成果品を提供する」の方針のもと、全社・各部門・社員一人一人が毎年の目標と計画を掲げ、達成に向けて活動することを20年以上継続してきました。

「会社のレベルは社員のレベル以上には決してならない」を念頭に、人材育成や技術向上にも取り組んでいます。

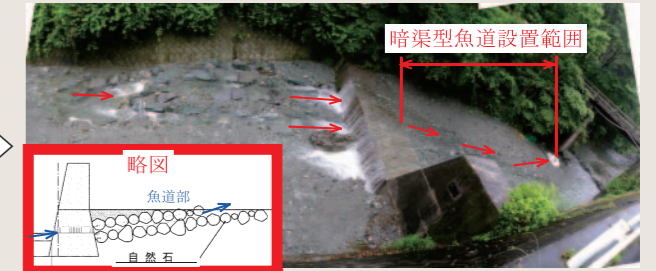
毎年、期初及び半期の年2回開催する全社会議では、社員全員が参加して、会社方針・計画・目標の説明を行うと共に、全社・各部門の業績報告・各個人の計画・目標の発表、研究・開発の事例発表など1日を要して実施しています。この会議の目的は、方針の周知・展開と情報共有により、全社員の意欲と参画を高めるものです。

社員の成長を促す仕組みとしての制度も整備しています。資格区分を定め、役割・求める要件・力量を明確にして、若手から熟練技術者まで、各自の成長を段階的に確認・評価しやすくしたものです。

技術向上においては、顧客満足を品質の第一義ととらえ、「顧客評価向上」を品質目標に業務に取



暗渠型の自然石魚道(施工前の施設現況)



(完成後)



橋梁のひび割れ計測(遠隔からの計測)



デ・レーケ巨石空石積堰堤の現地調査



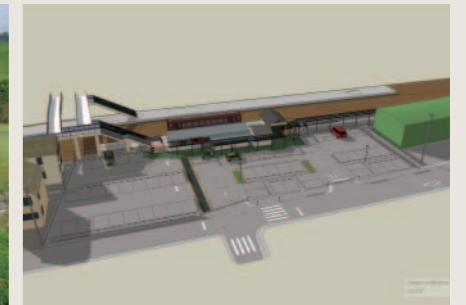
地質調査(平板載荷試験)



砂防堰堤



環境に配慮した流路工



駅前ロータリーの計画検討(CG)

り組んでいます。これは、国や県市の業務等成績評定の総合評定点を向上させるもので、業務における提案や創意工夫により、ステップアップに努めています。

技術紹介

従来からの業務に加え、最近の技術的な取り組みを紹介します。

● 施設点検・劣化診断・維持補修計画

・比較的小規模な橋梁の補修設計・補修工事等の技術向上・普及を産学連携で取り組んでいます。

● ひび割れ計測システムの活用

・光波測量機を用いたひび割れ計測技術を導入し、高精度な計測と図化、経年変化管理を可能にしています。

● 環境技術

・暗渠型の自然石魚道工法

自然石を用いた暗渠型の魚道工法で、従来は開渠型の階段式魚道工法で対応していたものが、本工法により、既設構造物への魚道機能の付加・向

上が図れる新たな工法です。本技術は地元建設会社の発案により、当社との連携で「沈水型石樋魚道(堆積土砂内に設置可能な自然石魚道)」の名称でNETIS登録となっています。

・ 巨石空石積砂防堰堤の設計手法確立

明治6年オランダの技術者デ・レーケにより建設された「巨石空石積砂防堰堤」は、130年以上経過した現在も健在なものが数多くあります。実績に裏付けられた技術と安定性能を現代の土木技術で解き明かし、設計手法として確立することを目的に、産学共同で研究を進めています。

目指すもの

私たちは専門技術を活用した事業活動により、お客様の満足・地域社会の発展、その結果として自らの幸福実現を目指しています。

(文：業務推進室長 島田龍彦)